

第4章 解決すべき課題

1. 都市及び公共交通の現状から見た問題点

解決すべき課題の抽出に向けた現状の総括(分析結果)を以下の表7にまとめました。

表7 現状の総括(抜粋)

項目		分析結果(抜粋)
上位・関連計画		<ul style="list-style-type: none"> ✓大村市都市計画マスタープランでは、「高速交通体系を活かし国内外の交流や各種産業の振興を図る」ことが記載 ✓大村市立地適正化計画では、「高速交通や各種拠点を繋ぎ拠点に容易にアクセスできる環境を確保、都市間を結び通勤・通学の利便を活かした多様なライフスタイルが選択できる環境の整備」の取り組みが記載 ✓第三次大村市環境基本計画では、「環境対応車導入の普及啓発や公共交通の利用促進」が記載 ✓その他、大村市ではプロジェクトとして「大村市新庁舎建設基本計画」、「新大村駅前市有地開発事業」が進行
地域の現状	人口等	<ul style="list-style-type: none"> ✓人口は増加しているものの高齢化が進行しており、65歳以上の割合も現状の25.2%から令和42(2060)年には34.6%まで上昇する予測 ✓高齢者のみ世帯が増加傾向で、令和2(2020)年には23.2% ✓「松原地区」や「萱瀬地区」では65歳以上の人口割合が40%近くとなっており、本市全域の平均25.2%を大幅に上回る
	移動特性	<ul style="list-style-type: none"> ✓市内に在住する就業者(15歳以上)の約7割が市内で就業し、約3,700人が市外へ流出超過、流出先は諫早市がほぼ半数、次いで長崎市が約20% ✓市内に在住する通学者(15歳以上)のうち、約6割は市内で通学し、約400人が市外へ流出超過、流出先は諫早市が半数以上、長崎市が約20%、佐世保市が約10% ✓日常的な買い物は「竹松地区」、「西大村地区」、「大村地区」は地区内で買い物、それ以外の地区は前述した三地区へ買い物
	施設立地状況	<ul style="list-style-type: none"> ✓行政施設や体育・文化施設、教育施設等は市内の各地区に立地、商業施設、医療施設は市街地に集積し、各地区の山間部への立地は限定的
公共交通の現状	公共交通ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ✓市内には、長崎空港、西九州新幹線、JR(大村線)、路線バス(県営バス)高速バス(県営バス・西肥バス等)、乗合タクシー(7地区)、船舶が運行 ✓全国的にも珍しい空港・新幹線・インターチェンジが揃う

項目	分析結果(抜粋)
路線バス	<ul style="list-style-type: none"> ✓長崎県営バスが運行する 14 路線・46 系統の路線バスが運行 ✓ほとんどの路線が大村ターミナルを経由するため、交通結節点として重要な役割 ✓空港と県内の都市を結ぶ路線の利用者数が多く広域的な移動手段としての役割
乗合タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ✓輸送人員と財政負担は令和 3(2021)年以降、利用者数は大幅に増加し、それに合わせて費用も大幅に増加、要因は萱瀬、野岳の新規ルート開設と三浦地区ルートのリニューアル ✓ルート別の 1 便あたりの利用者数では、萱瀬、三浦、松原は 2 人かそれ以上の乗合が発生、南川内地区、鈴田ルートは乗合が発生していないかしくい状況 ✓ルート別の収支率は唯一、松原ルートのみが 10%を超えている。それ以外のルートは 10%以下、特に三浦と野岳は 5%以下と厳しい状況
公共交通空白地域	<ul style="list-style-type: none"> ✓市内の山間部や沿岸を中心に公共交通空白地域が広がる ✓特に福重地区、鈴田地区は約 30%、萱瀬地区に至っては約 40%の市民が公共交通空白地域に居住
事業者ヒアリング(長崎県営バス)	<ul style="list-style-type: none"> ✓人材不足は以前から続いている ✓現在 DX 等(バスロケ、スマートバス停)等を進めているが、大村市でも計画に入れて補助がもらえるような仕組みを検討していただきたい ✓乗合タクシーとの連携を進める
事業者ヒアリング(大村市タクシー協会)	<ul style="list-style-type: none"> ✓乗合タクシーの予約がシステムではないので今後利用者が多くなると大変 ✓人手不足が顕著
市民アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ✓若年層の約 6 割、高齢層の 1~2 割が公共交通を利用しており、市民の移動手段としては重要な役割 ✓公共交通に対する不満では、若年層は希望の時間に乗れない、高齢層は帰りの待ち時間が長い等が最も多い、次いでバス停までの距離を回答する方が多い
利用実態調査	<ul style="list-style-type: none"> ✓野岳・富の原線は、黒丸入口以南では一定の利用があるものの一部区間は北部循環線などと重複しており、また、野岳・竹松線と重複する区間は利用が顕著に低迷 ✓萱瀬線は、市街地区間である大村ターミナル~大村インター間では一定の利用が見られるものの、萱瀬方面の区間は利用が顕著に低迷 ✓大村・諫早線の餅ノ浜~松原の利用は皆無、野岳入口以南は一定の利用が見られるものの区間のほとんどは野岳・竹松線と重複

2. 解決すべき課題

本市の地域や公共交通の現状、公共交通に求められる役割などを踏まえて、地域が目指す将来像の実現に向けて地域公共交通として解決すべき課題を以下に整理しました。

課題① 都市の変化に応じた移動サービスの維持が必要

- 人口は増加傾向にあるものの、高齢化が進行しており、高齢化率(65歳以上の人口割合)は令和2(2020)年の25.2%から令和42(2060)年には34.6%まで上昇する見込みです。地区別の高齢化率では「松原地区」「萱瀬地区」が約40%と比較的高く、また、公共交通空白地域の人口割合は「福重地区」「鈴田地区」で約30%、「萱瀬地区」で約40%となっており、地域によって異なる実情や特性に応じた移動サービスのあり方を検討していく必要があります。
- 市役所新庁舎の建設(移転)や新大村駅周辺開発の進行などにより人の動きも変化していくものと考えられ、こうした変化に対応した移動サービスを考える必要があります。
- また、GX※1の観点なども踏まえ、公共交通に関する様々な課題を解決しながら、都市としての持続性向上を高めることも重要になってきます。

課題② 今後のドライバー不足に対応する持続可能な移動サービスが必要

- 路線バスやタクシーは買い物や通院など日常生活の重要な移動手段となっていますが、ドライバー不足が大きな問題となっており、2024年問題などによりさらに深刻化する懸念があることから、DX※2を含めた新たな情報技術の活用も視野に対応を検討していく必要があります。

課題③ 通勤・通学等を含めた広域的な移動手段の確保が必要

- 市内に在住する就業者の約25%、通学者の約39%は市外へ通勤・通学しています。
- 『大村市立地適正化計画』の方針にも位置付けられている通り「都市間の通勤・通学の利便を活かして多様なライフスタイルが選択できる環境を確保」し、移住・定住を促進して都市の活力につなげていくことが重要であることから、鉄道や高速シャトルバス・路線バス等の広域移動サービスを引き続き確保・維持していく必要があります。

課題④ 空港・新幹線駅・高速道路ICの連携・それぞれの機能強化を図ることが必要

- 市内に空港・新幹線駅・高速道路ICが近接して立地する全国的にも数少ない恵まれた交通条件を有効に活用していく必要があります。
- 『大村市都市計画マスタープラン』においても道路・交通の整備方針として「高速交通体系を活かし国内外の交流や各種産業の振興を図る」ことが位置付けられており、空港・新幹線駅・高速道路ICの一層の連携を図りながらそれぞれの機能を強化していくことが重要です。

課題⑤ それぞれの移動サービスの役割を再整理することが必要

- 路線バスは市民の日常生活等における重要な移動手段としての役割を担っていますが、なかには利用が顕著に低迷し、路線バスで輸送するだけの需要がない路線・区間が見られます。乗合タクシーについても、運行1便あたりの利用者数が1人程度にとどまるなど「乗合」が発生していないルートも散見されます。
- 移動サービス全体を見渡した上で、それぞれの移動サービスの役割を再整理し、適材適所で組み合わせた効率的で持続性が高いネットワークの構築を検討する必要があります。

課題⑥ 利用特性や移動サービスの特徴を踏まえた組み合わせの検討が必要

- 高齢化の進行などにもとない、最寄りのバス停等までの移動が難しくなる市民が増加するなど、よりきめ細かな移動サービスの必要性が増大していく可能性があります。
- 路線バスや乗合タクシーといった既存の公共交通の「枠組み」では対応しにくい移動が増加していく可能性もあることから、新たな情報技術などの活用も視野に、利用特性やそれぞれの移動サービスの特徴を踏まえた最適な組み合わせを検討していくことが重要になります。

※1 【GX】(グリーントランスフォーメーション)化石燃料をできるだけ使わず、太陽光や水素などの自然環境に負担の少ないクリーンなエネルギーを活用していくための変革やその実現に向けた活動

※2 【DX】(デジタルトランスフォーメーション)進化したITを普及させることで人々の生活をより良いものにしていく変革